

在日朝鮮人教育闘争における自由権と社会権の展開

鄭祐宗

文学研究科(日本学)

私は、既発表論文において、解放後在日朝鮮人運動史の実証研究を明らかにしてきた。

本報告では、これまでの実証研究の成果の上に立って、在日朝鮮人教育闘争の発展を基本権の立場から明らかにすることを目的とし、その分析視角として、教育自主権を意味する自由権を実現する闘いと、教育費保障を意味する社会権を実現する闘いの両面から、1940年代から1950年代における在日朝鮮人運動史の展開を明らかにする。

とくに、本報告では、自由権と社会権の統一という視角から、在日朝鮮人社会が主体的に民族教育をつくりだす事実に着目し、GHQ/SCAP、日本政府による支配を乗り越えていく苦難の展開を、在日朝鮮人の政治社会史として位置づけようとする。

以上の分析の上に立って、解放後在日朝鮮人運動史における自決権の実現という立場から、本報告の結論を得る。